

☆小1の学習で使用する画材・お道具リスト☆

購入する際に、参考にしてください。メーカー・製品の指定はありません。
また、このリストに記載されている製品の購入を推奨するものではありません。

ふでばこ

学習に集中するためにも、鉛筆キャップの必要がない箱形の筆箱が望ましいです。また、鉛筆削りや消しゴムケースなどの仕掛けの付いた物も集中を妨げますのでおすすめできません。



えんぴつ

ひらがな・カタカナ・漢字の練習では6B鉛筆を使用します。その他、ノートをとる際などには2B以上の鉛筆を使用します。インドネシアでも購入することができます。常に筆箱には6B鉛筆を2~3本用意してください。

赤青えんぴつ

インドネシアでは赤と青が一本になった“赤青えんぴつ”は見かけません。インドネシアにも色鉛筆のばら売りがありますので、それでも代用が可能です。



ネームペン

・油性タイプ

油性タイプのネームペンは必ずご用意ください。普段の授業や図工でも使用します。

はさみ

☆安全性を考えて、キャップのある子供向けのものを

使わない時はキャップをするよう指導していますので、キャップのあるものが望ましいです。また、大人が普段使うような大きすぎるはさみは、子供たちには使いづらいです。



セロハンテープ

テープは必ず無地のものを持たせてください。

子供でも簡単に替えのテープをはめられるテープカッターが望ましいです。



のり

☆活動に合わせ使いやすい方を

・液体のり（水のり）

しっかりと接着させることができるので、厚みのあるものに向いています。

・スティックのり

プリントをノートに貼るときなど、薄い紙をしわなく貼るのに向いています。

・ポットタイプ

小学校では、同時に様々な作業を行うことがあり、指で塗るこのタイプでは活動がしづらくなることがあります。スティックのりか液体のりをご用意ください。

はじめは、液体のりでもスティックのりでも構いません。今後、活動の内容に応じて、両方必要になってきます。



接着剤 合成接着剤と木工用ボンドは用途が違います！

木工用ボンド 水で洗い流すことができ、手や机に付いても簡単に掃除できます。

合成接着剤 接着したい物に合わせて様々な種類があります。水では落とせません。接着剤によっては、机の塗料が溶けたり、皮膚を痛めたりします。低学年では扱いが難しいです。

☆インドネシアで買える木工用ボンド

日本の木工用ボンドと変わりません。ボトルタイプも売っています。



☆“木工用ボンド”と間違いやすい合成接着剤

インドネシアでよく見られる『UHU』製品は木工用ボンドとは異なります。また、ブランドネームとして、“ボンド”と書かれているものがありますが、“木工用”かどうか、確認が必要です。



色えんぴつ お子様に合わせて、クーピーでも代用が可能です。

☆お道具箱に収まる、12色前後がおすすめ

・色えんぴつ

多すぎる色数は子供には使いこなせませんので、12色前後で発色のいいものがおすすめです。

・クーピー（ワックスクレヨン）

お子様の実態や学年に合わせて、色えんぴつと使い分けるとよいでしょう。



クレヨン オイルタイプのクレヨンをご用意ください。（クレヨンとクーピーは別物です！）

クーピー 薄い色づきで、手が汚れにくいですが、水彩絵の具を重ねるような学習には不向き。JJSの図工では、色鉛筆の代用品として使っています。

クレヨン 発色が良く、柔らかいので子供にも扱いやすいです。こすれに弱く、手や机は汚れやすいです。オイルタイプで水を弾くので、水彩絵の具を重ねる学習に向いています。

☆インドネシアで買える！おすすめ

日本のメーカーの海外仕様が売っています。他の国のメーカーもあまり質は変わりません。



→選ぶ際のポイント&注意

- ① クレヨンは絵の具のように混色できないので、ピンク・グレー・オレンジ・肌色があるものがおすすめです。描くものの幅が広がります。
- ② 「ワックス クレヨン」と書かれているものがありますが、クーピーですので、購入の際には注意が必要です。
- ③ 「水で落とせるクレヨン」を学習で使う際には確認を。
クレヨンは水彩絵の具とセットで使うことが多いですが、水で落とせるタイプのクレヨンは水で溶けますので、水彩絵の具と一緒に使う際には確認が必要です。

水彩絵の具 水彩絵の具をご用意ください。(水彩絵の具とアクリル絵の具は別物です!!)

水彩絵の具 水に溶けやすく、透けた表現が可能です。

アクリル絵の具 水彩絵の具より透けが少なく、速乾性で乾くと耐水性になり、ガラスや板などにも使えます。

☆インドネシアでも買える水彩絵の具

- ・インドネシアで揃う、日本製でない水彩絵の具です。
- ・Pentelは上記のものとは質はあまり変わりません。
- ・チューブあたりの量が少なめで、ばら売りは見かけません。



アクリル絵の具は水彩絵の具の代わりにはなりません。

水彩絵の具のチューブでのばら売りは見かけませんので、日本に帰るタイミングで、赤・青・黄・白は買い足しておくことをおすすめします。

その他の水彩道具 中学でも使うので、使いやすいものを。

・筆

コシのある動物の毛やアクリル毛タイプが一般的です。道具をばらで揃える際は、油絵の具用の筆と間違えないようお気を付けください。水分を含みづらく、ゴワゴワした堅い毛質なので画用紙を傷めます。



・パレット

二つ折りで、中が大小に別れたタイプがおすすめです。お花型の部屋数の少ないパレットは学習には不向きです。



・筆洗バケツ

濁った水では混色が上手にできないことを学習します。3つ以上部屋が別れたタイプがおすすめです。セットで買うと左の横長のものが多いです。



☆わかりやすいセットがおすすめ

日本で買うなら、すべてが揃うセットがあります。バッグに、絵の具・パレット・筆2~3本・筆洗バケツ・ぞうきんが入ったものです。ぞうきんの代わりにスポンジが入っていることがありますが、別にぞうきんをご用意ください。

